

公益社団法人日本新体操連盟

平成 25 年度第 1 回総会議事録

1. 会議名： 平成 25 年度第 1 回総会
2. 日時： 平成 25 年 6 月 25 日（火）14 時 30 分～15 時 00 分
3. 場所： 東京都港区西麻布 3-2-32
「霞会館 201 号室」
4. 構成員現在数： 20 名
5. 出席会員数： 14 名
以下出席社員
熊谷 正儀(仙台ジュニア体育研究所)
芳賀 久美子(Little queen RG)
藤野 朱美(Diana)
秋山 久世(A S K A ・ R G)
飯田 まぶき(インタークオレス)
波多野 恵子(東京ジュニア新体操クラブ)
横山 眞理子(ピュア R . G)
曾我部 美佳(町田 R G)
村上 佳子(R i b b o n 新体操クラブ)
玉野 由美(Shaleur R.G)
加藤 弘美(S T E L L A)
小林 かおり(サンシャイン R . G)
芳野 操(樟蔭ジュニア)
梶原 多栄子(梶原ジュニア新体操クラブ)
6. 欠席会員数： 6 名
7. 出席役員： 二木 英徳(会 長) 朝倉 正昭(副 会 長) 石崎 朔子(副 会 長)
福本 隆(副 会 長) 荒井 隆(専務理事) 関田史保子(常務理事)
池田真喜子(理 事) 上村 郁代(理 事) 谷口 裕代(理 事)
橋本 千波(理 事)
以上 10 名
8. 欠席役員： 渡辺 守成(常務理事) 秋山エリカ(理 事) 岡 久留実(理 事)
崇島 慎一(理 事) 谷原 誠(理 事) 山崎 浩子(理 事)
田中 元(監 事)
以上 7 名
9. 議案：
決議事項
第 1 号議案 平成 24 年度事業報告承認について（定款第 4, 12 条関連事項）
第 2 号議案 平成 24 年度収支決算報告承認について（定款第 4, 12 条関連事項）
第 3 号議案 その他
10. 議事の経過及び結果
(1) 議長による開会宣言
（公社）日本新体操連盟・定款第 15 条の定めにより議長を会長二木英徳が勤め、開会宣言を行った。
(2) 議事録署名人の選出
定款第 18 条により、議長は議事録署名人を朝倉正昭副会長と荒井隆専務理事にする事を議場に諮り承認された。
(3) 定足数の確認
定款第 17 条により総会出席者数 14 名であることが谷口裕代理事より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

(4) 議決事項

第1号議案 平成24年度・事業報告承認について（定款第4,12条関連事項）

議長は説明者として石崎朔子副会長を指名し、石崎副会長は下記内容の説明を行った。

1. 平成24年度登録状況報告について

平成24年度は

加盟団体数	590 団体
登録選手数	9,059 名
愛好者数	32,980 名
審判員数	1,225 名
指導者数	1,505 名

であった。23年度に震災があり、登録者数が一時減少していたが、24年度は登録が戻り590団体となった。

2. 「第21回全日本新体操クラブ選手権」について

8月24日から26日に千葉県「千葉ポートアリーナ」にて開催した。

24年度の開催大会全般に言える事だが、東京体育館が改修工事だったため、千葉ポートアリーナや、代々木第一体育館で開催した。

参加者数は 218 クラブ

クラブ対抗優勝は3大会連続19回目の優勝

シニアは穴久保選手

ジュニアは皆川選手

が初優勝した。

全日本選手権にはシニア上位12名が出場権を獲得した。

3. 「第12回全日本新体操クラブ団体選手権」について

9月8、9日千葉県「千葉ポートアリーナ」にて開催した。

参加者は110クラブチーム692名が参加した。

競技では、「シニアの部」で「NPO ぎふ新体操クラブ」が、「ジュニアの部」では「東京ジュニア新体操クラブ」が初優勝を飾った。

全日本選手権へは、「シニアの部」上位3チームの「NPO ぎふ新体操クラブ」「すみれRG」「ポーラ☆スターRG」が出場権を獲得した。

4. 「イオンカップ2012世界新体操クラブ選手権」について

大会は9月28日から30日にかけて「代々木第一体育館」にて開催した。

大会には連覇中のE・カナエワ選手が引退し、新女王候補が集まった。

競技では、ロンドンオリンピック銀メダリストD・ドミトリエワ選手擁する、ロシアの「ガस्पロム」が13回連続15回目の優勝を飾った。

シニアではドミトリエワ選手が初優勝、ジュニアではベラルーシのガルキナ選手が初優勝を飾った。

日本選手団では、「イオン」がイオンカップ昨年に続き過去最高の4位入賞を果たし、ジュニアではイオンの皆川夏穂選手が昨年の銀メダルに続き5位に入賞するなど活躍を見せた。

5. 「第13回日本新体操祭」

「イオンカップ」2日目の9月29日「代々木第一体育館」で開催した。
参加者数は46クラブ1431名であった。
大変多くの参加者とそれをご覧になるお客様で、大変盛況であった。

6. 「第15回全日本新体操チャイルド選手権」

「第12回全日本新体操キッズコンテスト」について

今回は325クラブ675名の参加者を集め、2月22日から24日にかけて「千葉ポートアリーナ」にて開催した。
今回より、新体操の本来の姿を求め、5・6年生の部、3・4年生の部で手具を取り入れる事となった。キッズコンテストでも内容をより自由にし楽しい大会になった。

5・6年生の部で「イオン」の柴山選手が、
3・4年生の部は「ミュゼ新体操クラブ」の森田選手が初優勝を飾った。

7. 「平成24年度セミナー」について

「初級集中講義」と「上級セミナー」を4回
「審判セミナー」を3回
「海外セミナー」を1回
実施した。
24年度は久しぶりに海外セミナーを開催した。

以上の説明の後、議長は質疑、意見等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第1号議案「平成24年度・事業報告承認」について全会一致可決された。

第2号議案「平成24年度・収支決算報告」について（定款第4,12条関連事項）

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 収支決算

資料には平成24年度の予算と実績を記載し、差異の大きいところを説明する。

「登録費」について

震災で登録を控えていたクラブが登録したため、入会金が予算21万円増の51万円の収入。会費収入が予算より65万2600円増の1251万2600円となった。

「世界新体操クラブ選手権」について

予算については昨今の経済状況をふまえ、スポンサー収入の減少など見積って予算を組んでいたが、皆様の協力もあり、予算より約5000万円多い2億1922万4247円の収入があった。

支出については、代々木体育館使用の為、体育館設備がほとんど自前で設けないといけないこと、体育館内での広告が一つ一つに費用がかかった事などが関係し、体育館使用料、設営費が増えたこと、テレビ朝日の放映枠購入費用などで、2億408万7691円の支出となった。

「全日本クラブ選手権」について

収入予算を千葉開催の参加者数の影響を考慮し、1100万円と見込んでいたが、そこまですべて参加者数が減る事がなく、参加料、チケット収入、販売等が貢献し、予算より300万円ほど多い、1392万6122円の収入であった。

支出では「団体選手権」でも同様の事となるが、冷暖房費などの体育館使用料増、地方開催による交通宿泊費増により、支出も約 100 万円増の 1239 万 145 円の支出となった。

「全日本クラブ団体選手権」について

収入は予算とそれほどかい離はなかったが、支出は「クラブ選手権」同様の増加で、669 万 9667 円となった。

「指導者海外研修会」について

「指導者育成海外セミナー」では、久しぶりに参加者が集まり、ベラルーシにて開催した。しかし、ロシア圏のインフレの影響により、航空券、宿泊費用が高騰し、約 30 万円の赤字となった。今年などは最少催行人数を増やすか、参加費の値上げで対応したい。

以上により、平成 24 年度事業活動収入合計は 2 億 7575 万 8782 円。事業費支出計が 2 億 4372 万 1733 円。管理費がほぼ予算計上通りで 3320 万 4020 円。事業費支出と管理費を合わせ、2 億 7692 万 5753 円が 24 年度の支出合計となった

23 年度収入から、支出を差し引きマイナス 116 万 6971 円が当期収支差額となった。

前期繰越金 1467 万 4366 円から当期収支差額マイナス 116 万 6971 円を差し引いた 1350 万 7395 円が次期繰越となった。

2. 貸借対照表、財産目録

23 年度は流動資産が約 116 万円のマイナス、負債はなかったので 0 円。

よって、平成 25 年 3 月 31 日時点の正味財産は昨年度より、116 万 6971 円減少し、基本財産、資産等含め 3513 万 1451 円となった。

3. 監事承認

この決算内容は本連盟監事より、承認いただいていることを合わせて報告した。

以上の説明の後、議長は質疑、意見等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第 2 号議案「平成 24 年度・収支決算報告承認」について全会一致可決された。

第 3 号議案「その他」について

議長は議場にその他議案の提出を諮ったが、提案、報告はなかった。

(5) 閉会宣言

議長は他に質問、意見がないのを確認し総会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成 25 年 6 月 25 日

公益社団法人 日本新体操連盟 平成 25 年度第 1 回総会

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 朝 倉 正 昭

同 荒 井 隆